



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社 カネミツ 上場取引所 東  
 コード番号 7208 URL <http://kanemitsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金光 俊明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 業務本部長 (氏名) 金光 秀治 TEL 078-911-6645  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,034	△13.7	△398	—	△398	—	△109	—
2020年3月期	8,154	△10.6	113	△87.8	113	△88.1	70	△90.0

(注) 包括利益 2021年3月期 △131百万円 (—%) 2020年3月期 142百万円 (△73.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△21.42	—	△1.2	△2.9	△5.7
2020年3月期	13.79	—	0.8	0.9	1.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △13百万円 2020年3月期 △4百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,146	9,147	63.5	1,756.25
2020年3月期	13,096	9,503	69.8	1,787.81

(参考) 自己資本 2021年3月期 8,980百万円 2020年3月期 9,141百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	563	△434	885	2,676
2020年3月期	805	△1,424	△220	1,709

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00	133	188.5	1.5
2021年3月期	—	13.00	—	13.50	26.50	135	—	1.5
2022年3月期(予想)	—	13.50	—	13.50	27.00		37.4	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,400	54.7	20	—	1	—	1	—	0.19
通期	9,200	30.8	400	—	370	—	360	—	70.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	5,129,577株	2020年3月期	5,129,577株
2021年3月期	16,281株	2020年3月期	16,250株
2021年3月期	5,113,318株	2020年3月期	5,113,327株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,199	△14.4	△486	—	△55	—	△26	—
2020年3月期	4,908	△16.6	△228	—	8	△98.6	△177	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△5.25	—
2020年3月期	△34.63	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	9,611	6,115	63.6	1,195.94
2020年3月期	8,378	6,116	73.0	1,193.78

(参考) 自己資本 2021年3月期 6,115百万円 2020年3月期 6,116百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	12
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が大きく停滞しました。

自動車業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により需要が低迷し、国内自動車販売台数は、第2四半期連結累計期間までは前年同累計期間比△22.6%と大きく減少しておりました。10月以降は、需要の回復を受けて、連続して増加に転じましたが、2020年度の最終的な国内自動車販売台数としましては、465万台と500万台を下回りました。また、足元では感染症拡大の長期化と半導体の供給不足が生じており、引き続き先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、主力商品であるプーリにおける徹底した利益創出、次期商品（自動車用トランスミッション部品、電動部品等）の採算性確保、バーチャル試作の活用等の取組みを進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う減産が大きく影響し、その結果、当連結会計年度の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

このような経済状況のもと、当連結会計年度の経営成績は、総売上高は7,034百万円（対前期1,120百万円減少[△13.7%]）となりました。利益面では、営業損失398百万円（前期は営業利益113百万円）、経常損失398百万円（前期は経常利益113百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失109百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益70百万円）となりました。

セグメント別では、日本は、売上高は4,909百万円（対前期425百万円減少[△8.0%]）、営業損失は480百万円（前期は営業損失167百万円）となりました。東南アジアは、売上高は1,474百万円（対前期665百万円減少[△31.1%]）、営業損失は41百万円（前期は営業利益102百万円）となりました。中国は、売上高は810百万円（対前期92百万円減少[△10.2%]）となり、営業利益は91百万円（対前期は36百万円減少[△28.2%]）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は14,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,050百万円の増加となりました。流動資産は760百万円増加しましたが、その主な内訳は現金及び預金の増加422百万円、受取手形及び売掛金の増加319百万円、電子記録債権の増加12百万円、商品及び製品の増加63百万円、その他の減少54百万円等によるものであります。固定資産の残高は8,029百万円となり、289百万円増加しました。その主な内訳は建物及び構築物の増加83百万円、建設仮勘定の減少220百万円、投資有価証券の増加428百万円等によるものであります。

当連結会計年度末における負債は4,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,406百万円増加しました。流動負債は308百万円増加しましたが、その主な内訳は支払手形及び買掛金の減少219百万円、電子記録債務の増加380百万円、短期借入金の減少69百万円、リース債務の増加81百万円、1年以内返済予定の長期借入金の増加150百万円等によるものであります。固定負債は1,097百万円増加しましたが、その主な内訳は長期借入金の増加886百万円、リース債務の増加91百万円、繰延税金負債の増加89百万円等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産の残高は9,147百万円となり356百万円減少しました。その主な内訳は利益剰余金の減少242百万円、その他有価証券評価差額金の増加166百万円、為替換算調整勘定の減少144百万円、非支配株主持分の減少194百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,676百万円と前連結会計年度末と比べ、967百万円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は563百万円（対前期241百万円減少[△30.0%]）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失138百万円（前期は税金等調整前当期純利益256百万円）、減価償却費757百万円（対前期50百万円増加[7.2%]）、減損損失53百万円（前期はありません）、補助金収入112百万円（対前期19百万円減少[△14.5%]）となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は434百万円（対前期990百万円減少[△69.5%]）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出735百万円（対前期230百万円減少[△23.9%]）、定期預金の減少額494百万円（前期は定期預金の増加額633百万円）、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出205百万円（前期はありません）となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は885百万円（対前期は使用した資金220百万円）となりました。これは主に長期借入れによる収入1,360百万円（対前期1,260百万円増加）、長期借入金の返済による支出322百万円（対前期35百万円増加[12.5%]）、配当金の支払額132百万円（対前期とほぼ同額）となったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の業績予想は、売上高9,200百万円、営業利益400百万円、経常利益370百万円、親会社株主に帰属する当期純利益360百万円を見込んでおります。なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当企業集団は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

I F R S の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,598,916	3,021,903
受取手形及び売掛金	1,467,565	1,786,593
電子記録債権	476,036	488,881
有価証券	3,685	—
商品及び製品	97,998	161,093
仕掛品	505,738	498,148
原材料及び貯蔵品	63,479	71,550
その他	143,456	88,906
流動資産合計	5,356,876	6,117,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,753,493	4,240,310
減価償却累計額	△1,859,491	△2,262,493
建物及び構築物 (純額)	1,894,002	1,977,816
機械装置及び運搬具	8,482,870	9,552,177
減価償却累計額	△6,345,241	△7,445,832
機械装置及び運搬具 (純額)	2,137,628	2,106,344
工具、器具及び備品	1,179,172	1,201,592
減価償却累計額	△1,009,312	△1,022,786
工具、器具及び備品 (純額)	169,859	178,805
土地	2,190,463	2,241,189
建設仮勘定	472,342	252,295
有形固定資産合計	6,864,296	6,756,452
無形固定資産		
のれん	13,720	10,062
その他	123,674	120,267
無形固定資産合計	137,395	130,329
投資その他の資産		
投資有価証券	478,704	907,513
関係会社株式	106,156	85,376
その他	153,148	149,985
投資その他の資産合計	738,009	1,142,875
固定資産合計	7,739,701	8,029,657
資産合計	13,096,578	14,146,735

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	750,640	530,986
電子記録債務	—	380,000
短期借入金	584,472	515,339
1年内返済予定の長期借入金	265,640	416,228
リース債務	20,825	102,465
未払法人税等	25,833	16,024
賞与引当金	102,201	120,522
役員賞与引当金	5,901	10,326
その他	597,969	570,145
流動負債合計	2,353,484	2,662,040
固定負債		
長期借入金	348,893	1,235,469
リース債務	207,866	299,447
長期未払金	112,380	79,380
繰延税金負債	318,432	408,054
退職給付に係る負債	249,698	258,551
その他	2,065	56,124
固定負債合計	1,239,337	2,337,027
負債合計	3,592,821	4,999,068
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,073	556,073
資本剰余金	447,480	506,523
利益剰余金	7,705,790	7,463,292
自己株式	△15,837	△15,859
株主資本合計	8,693,507	8,510,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,464	306,072
為替換算調整勘定	308,713	164,151
その他の包括利益累計額合計	448,178	470,223
非支配株主持分	362,071	167,412
純資産合計	9,503,756	9,147,667
負債純資産合計	13,096,578	14,146,735

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,154,430	7,034,151
売上原価	6,500,980	5,932,308
売上総利益	1,653,449	1,101,842
販売費及び一般管理費	1,540,143	1,500,637
営業利益又は営業損失(△)	113,306	△398,795
営業外収益		
受取利息	12,395	6,862
受取配当金	15,444	15,009
為替差益	—	771
有価証券評価益	1,550	—
スクラップ売却益	6,337	6,013
その他	12,037	18,533
営業外収益合計	47,765	47,190
営業外費用		
支払利息	26,533	30,942
持分法による投資損失	4,058	13,372
為替差損	16,520	—
有価証券売却損	—	535
その他	31	1,798
営業外費用合計	47,143	46,649
経常利益又は経常損失(△)	113,928	△398,253
特別利益		
固定資産売却益	17,109	2,275
保険解約返戻金	44,417	16,968
補助金収入	131,985	112,883
受取保険金	967	1,025
受取補償金	—	30,594
負ののれん発生益	—	195,957
特別利益合計	194,479	359,705
特別損失		
固定資産売却損	10	12,098
固定資産除却損	18,031	33,978
減損損失	—	53,653
投資有価証券評価損	33,680	—
保険解約損	307	—
特別損失合計	52,030	99,730
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	256,377	△138,278
法人税、住民税及び事業税	85,194	32,558
法人税等還付税額	—	△23,519
法人税等調整額	99,794	△15,532
法人税等合計	184,989	△6,492
当期純利益又は当期純損失(△)	71,388	△131,785
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	827	△22,235
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	70,560	△109,550



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	71,388	△131,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,243	166,607
為替換算調整勘定	127,889	△159,175
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,718	△7,407
その他の包括利益合計	70,927	24
包括利益	142,315	△131,761
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	123,736	△87,505
非支配株主に係る包括利益	18,579	△44,255

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	556,073	450,193	7,778,236	△6,687	8,777,817
当期変動額					
剰余金の配当			△132,946		△132,946
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			70,560		70,560
連結子会社の増資による持分の増減		△2,713			△2,713
連結範囲の変動			△10,060	△9,150	△19,210
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		-			-
自己株式の取得				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△2,713	△72,446	△9,150	△84,310
当期末残高	556,073	447,480	7,705,790	△15,837	8,693,507

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	191,707	203,294	395,002	279,989	9,452,809
当期変動額					
剰余金の配当					△132,946
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					70,560
連結子会社の増資による持分の増減					△2,713
連結範囲の変動					△19,210
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					-
自己株式の取得					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△52,243	105,419	53,176	82,081	135,257
当期変動額合計	△52,243	105,419	53,176	82,081	50,947
当期末残高	139,464	308,713	448,178	362,071	9,503,756

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	556,073	447,480	7,705,790	△15,837	8,693,507
当期変動額					
剰余金の配当			△132,946		△132,946
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△109,550		△109,550
連結子会社の増資による持分の増減		—			—
連結範囲の変動			—	—	—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		59,043			59,043
自己株式の取得				△22	△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	59,043	△242,497	△22	△183,476
当期末残高	556,073	506,523	7,463,292	△15,859	8,510,030

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	139,464	308,713	448,178	362,071	9,503,756
当期変動額					
剰余金の配当					△132,946
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△109,550
連結子会社の増資による持分の増減					—
連結範囲の変動					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					59,043
自己株式の取得					△22
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	166,607	△144,561	22,045	△194,658	△172,613
当期変動額合計	166,607	△144,561	22,045	△194,658	△356,089
当期末残高	306,072	164,151	470,223	167,412	9,147,667

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	256,377	△138,278
減価償却費	707,263	757,985
減損損失	—	53,653
のれん償却額	3,658	3,658
負ののれん発生益	—	△195,957
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,367	△631
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,206	4,425
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△24	6,709
受取利息及び受取配当金	△27,840	△21,871
支払利息	26,533	30,942
持分法による投資損益(△は益)	4,058	13,372
有価証券評価損益(△は益)	△1,550	—
有価証券売却損益(△は益)	—	535
補助金収入	△131,985	△112,883
受取保険金	△967	△1,025
投資有価証券評価損益(△は益)	33,680	—
固定資産売却損益(△は益)	△17,099	9,822
固定資産除却損	18,031	33,978
保険解約損益(△は益)	△44,109	△16,968
売上債権の増減額(△は増加)	535,801	△152,968
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,724	35,021
仕入債務の増減額(△は減少)	△196,153	43,237
その他	△107,511	78,109
小計	999,314	430,868
利息及び配当金の受取額	26,066	24,480
利息の支払額	△24,485	△20,029
補助金の受取額	—	107,144
法人税等の支払額	△195,527	△61,262
法人税等の還付額	—	82,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	805,368	563,742
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	—	3,150
有形固定資産の取得による支出	△965,471	△735,064
有形固定資産の売却による収入	74,860	4,328
有形固定資産の除却による支出	△8,187	△2,125
無形固定資産の取得による支出	△6,471	△17,946
投資有価証券の取得による支出	△15,054	△15,901
定期預金の増減額(△は増加)	△633,600	494,280
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△205,687
関係会社株式の取得による支出	△5,303	—
保険積立金の解約による収入	55,832	36,927
預り保証金の返還による支出	△54,124	△3,096
補助金の受取額	131,985	5,739
その他	744	1,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,424,789	△434,043
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△184,481	△63,434
長期借入れによる収入	100,000	1,360,000
長期借入金の返済による支出	△286,732	△322,572
自己株式の取得による支出	—	△22
リース債務の返済による支出	△716	△39,731
セール・アンド・リースバックによる収入	222,686	175,671
配当金の支払額	△132,178	△132,627
非支配株主からの払込みによる収入	70,184	—
非支配株主への配当金の支払額	△9,396	△33,359

連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△58,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,633	885,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,835	△48,357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△808,219	967,266
現金及び現金同等物の期首残高	2,363,449	1,709,636
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	154,405	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,709,636	2,676,903

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 5社

連結子会社の名称

KANEMITSU PULLEY CO., LTD.

佛山金光汽車零部件有限公司

PT. KANEMITSU SGS INDONESIA

松本精工株式会社

株式会社津村製作所

上記のうち、当連結会計年度より株式会社津村製作所を株式の取得により子会社化し、連結の範囲に含めております。

2. 持分法の適用に関する事項

持分法適用の関連会社の数 1社

関連会社の名称 JBM Kanemitsu Pulleys Private Limited

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

(イ) 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

(ロ) 時価のないもの

移動平均法による原価法

② たな卸資産

(イ) 製品・原材料・仕掛品

主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(ロ) 貯蔵品

主として最終仕入原価法

## (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

## ① 有形固定資産（リース資産を除く）

当社及び国内連結子会社は定率法（1998年4月1日以降取得の建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降取得の建物附属設備及び構築物については定額法）、海外連結子会社は定額法

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

(イ) 建物	15～31年
(ロ) 構築物	10～35年
(ハ) 機械装置	8～16年
(ニ) 車両運搬具	4～6年
(ホ) 工具、器具及び備品	2～8年

## ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、償却年数は次のとおりであります。

ソフトウェア（自社利用分） 5年

## ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零（ただし残価保証がある場合は当該金額）とする定額法を採用しております。

## (3) 重要な引当金の計上基準

## ① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

## ② 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき額を計上しております。

## (4) 退職給付に係る負債の計上基準

退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に関しては、企業年金制度については期末現在の数理債務から年金資産の公正な評価額を控除した額、また、その他の部分については期末自己都合退職による要支給額を計上しております。

## (5) 連結財務諸表の作成の基礎となった連結会社の財務諸表の作成に当たって採用した重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定及び非支配株主持分に含めております。

## (6) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない定期預金等からなっております。

## (7) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却に関しては、その個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。

## (8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車部品等を生産・販売しており、国内においては当社、松本精工株式会社並びに株式会社津村製作所が、海外においては、東南アジアについては、現地法人KANEMITSU PULLEY CO., LTD. 並びにPT. KANEMITSU SGS INDONESIAが、中国については、現地法人佛山金光汽车零部件有限公司がそれぞれ担当しております。

現地法人は各々独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域毎に総合的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社の報告セグメントは生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」、「中国」の3つの報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、プーリーを中心に自動車部品等を生産・販売しております。

当連結会計年度より、株式会社津村製作所を連結の範囲に含め、その数値を従来の区分である「日本」に含めております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,232,844	2,019,753	901,832	8,154,430	—	8,154,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	101,911	120,247	1,381	223,540	△223,540	—
計	5,334,755	2,140,000	903,214	8,377,970	△223,540	8,154,430
セグメント利益又は損失 (△)	△167,923	102,972	127,945	62,993	50,312	113,306
セグメント資産	7,909,912	3,225,861	1,366,321	12,502,095	594,483	13,096,578
その他の項目						
減価償却費	420,800	225,716	67,167	713,684	△6,421	707,263
持分法適用会社への投資額	55,634	50,521	—	106,156	—	106,156
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	880,909	112,522	70,479	1,063,911	—	1,063,911



(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又は損失の調整額50,312千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,687千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等86,999千円が含まれております。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額594,483千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産799,464千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去等△133,043千円、報告セグメント外の調整額△71,937千円が含まれております。  
全社資産は、主に当社での余資運用資金（定期預金）、長期投資資金（投資有価証券、保険積立金）に係る資産等であります。
- (3)減価償却費の調整額△6,421千円は、セグメント間取引に係る調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	東南アジア	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,873,627	1,383,334	777,189	7,034,151	—	7,034,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,941	91,651	33,708	161,301	△161,301	—
計	4,909,568	1,474,985	810,898	7,195,452	△161,301	7,034,151
セグメント利益又は損失 (△)	△480,152	△41,894	91,903	△430,144	31,348	△398,795
セグメント資産	9,203,343	2,678,388	1,277,460	13,159,192	987,543	14,146,735
その他の項目						
減価償却費	454,127	231,050	78,975	764,154	△6,168	757,985
持分法適用会社への投資額	44,744	40,632	—	85,376	—	85,376
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	487,927	158,122	48,623	694,672	—	694,672

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益又は損失の調整額31,348千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△33,591千円及び報告セグメント間の取引の相殺消去等64,940千円が含まれております。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2)セグメント資産の調整額987,543千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,210,122千円及び報告セグメント間の債権の相殺消去等△129,861千円、報告セグメント外の調整額△92,717千円が含まれております。  
全社資産は、主に当社での余資運用資金（定期預金）、長期投資資金（投資有価証券、保険積立金）に係る資産等であります。
- (3)減価償却費の調整額△6,168千円は、セグメント間取引に係る調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,787円81銭	1,756円25銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	13円79銭	△21円42銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△) (千円)	70,560	△109,550
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純損失(△) (千円)	70,560	△109,550
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,113	5,113

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。